

PCT

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- ☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
- ☐ PCT規則12.4にいう国際公開
- ☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____ 項*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付かで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表(具体的に記載すること)
- ☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c)).

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表(具体的に記載すること)
- ☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)

請求の範囲

1-16

請求の範囲

有
無

進歩性(IS)

請求の範囲

1-16

請求の範囲

有
無

産業上の利用可能性(IA)

請求の範囲

1-16

請求の範囲

有
無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

1. EP 1028113 A1 (TORAY INDUSTRIES, INC.) 2000.08.16

2. US 2001/0003747 A1 (ADIR ET COMPAGNIE) 2001.06.14

請求の範囲1-16

請求の範囲1-16に記載された発明は、文献1及び2に対して新規性及び進歩性を有する。

文献1には、血小板凝集抑制作用を有し、かつ、一般式(I)で表される化合物が記載されている。ここで、上記一般式(I)は、本願化合物を包含するものであるが、文献1には、 A^4 が $-NR^5CO-$ である化合物は具体的に記載されていない。一方、本願化合物に係る構造を有することにより、文献1に具体的に記載された化合物と比較して格別顕著な血小板凝集抑制作用を有するものと認められる(本願実施例3を参照)。

文献2には、本願の式(I)において、 R^4 以外の構造が一致するベンゾモルホリン誘導体が記載されているが、 R^4 を導入することについては記載も示唆もされておらず、また、血小板凝集抑制作用についても記載されていない。

そして、文献1及び2の記載から、本願化合物に想到することが当業者にとって自明であったとも認められない。